

2020年9月吉日

関係各位

慶應義塾大学文学部西洋史学専攻
専任教員一同

2020年度三田史学会大会西洋史部会について

例年6月に開催される三田史学会大会は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で2020年度は開催を見送ることになりました。それを受け、西洋史学専攻ではオンラインで2020年度三田史学会大会西洋史部会を開催することと致しました。つきましては下記のとおり、ご案内申し上げます。

◆開催日時：2020年9月20日（日）13時30分～17時00分

◆開催方法：Zoom ミーティングによるオンライン開催

◆参加資格：三田史学会会員以外の方も参加できます

◆参加方法：学会ウェブサイト上の「参加申込フォーム」から事前登録をお願い致します。登録された方には、Zoomのミーティング参加用のURL、ならびにレジюме・ダウンロード用のBox（オンラインストレージサービス）フォルダーのURLをお知らせ致します。各報告者のレジюмеは、9月16日以降当該フォルダーよりダウンロード可能となります。

◆プログラム： 【報告時間】30分、【質疑応答時間】15分

13時30分：開会の辞

13時35分：【第1報告】 土肥野秀尚（慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程）

「前近代マドリッドにおける出稼ぎ労働者のディアスポラ形成 —ガリシア地方出身者を一例に—」

14時25分：【第2報告】 山本晶子（慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程）

「民族・世界観・新秩序：学術交流から見る日本とナチ・ドイツの文化提携のかたち」

15時10分～15時20分：休憩（10分間）

15時20分：【第3報告】 中村亮（慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程）

「ドイツ・ソ連占領地区における被追放民の労働配置の問題—ウラン鉱業を例に—」

16時10分：【第4報告】 堀井京子（慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程）

「開かれた活動（OA）」にみる東ドイツ社会—1960-70年代のチューリングゲン州教会を例として—」

16時55分：閉会の辞

以上